

◆学校づくり部会◆

【平成 22 年 1 月 12 日開催 会議報告】

小中一貫教育校開設に向けて下記事項について部会の方針を決定しました。今後各班で検討・協議を行います。

- ①学校名称・・・統合小学校名称（条例で規定、議決の必要あり）案は東峰小学校とし、小中一貫教育校の名称（愛称）を公募し、決定する。
- ②校章・・・小中一貫教育校の校章（シンボル章）を公募により決定し、シンボル章のみを使用する。
- ③校歌・・・小中一貫教育校の校歌を新しく作成し、一貫教育校歌のみとする。作成方法は班別会議で検討する。
- ④制服、通学路・・・0歳～中3までの保護者を対象に意向調査を行い、方針を班別会議で協議する。
- ⑤閉校式・・・閉校記念誌作成、閉校式典は各小学校ごとに実施する。
両校で調整を行いながら計画する。

今後、アンケートや公募などで皆様にご協力いただくことになります。チラシや広報「東峰」紙上でお知らせしてまいりますので、よろしくお願いたします。

広報 12 月号でお知らせしたとおり、一貫教育校の建設工事期間中は、中学生は宝珠山小学校の敷地に仮設校舎を作り学習します。現在、その仮設校舎の工事が始まっております。

- ・宝珠山小学校の3階に職員室と1～3年生の教室を配置
- ・校舎と講堂への渡り廊下横（旧給食室）にプレハブを建てて図書室と図工室を配置
- ・3月までに引越しを済ませ、4月からは仮設校舎での生活を開始

引越し等の詳しい日程等については現在2校で調整を行っています。工事期間中はいろいろ子どもたちや皆様にご迷惑をおかけしますが、ご理解ご協力よろしくお願いたします。

◆学校教育部会（生徒指導部会）◆

「生活のきまり」の原案を検討しています。

生徒指導部会では、「生活のきまり」について原案を検討しています。方針として、中学部と小学部で別々に作成することにしていきますので、小・中学部別々に検討しています。中学部では現行の「校則」を踏襲することにしていきます。小学部では、両小学校の現行の「生活のきまり」を生かしながら、新規に作成していくことにしています。

小学部生活のきまり（原案）から一部抜粋

- 学習
 - ・（チャイム）が鳴ったら席に着き、学習の準備をしておく。
 - ・姿勢を正しくして学習する。
 - ・話している人の方を向いて話をよく聞く。
 - ・自分の考えは、大きな声ではっきりと発表する。
 - ・自分のめあてをもち、進んで学習する。
 - ・シャープペンシルは使用しない。



◆学校教育部会（学習指導部会）◆

1 中学校の授業に小学校の先生が入っての交流授業

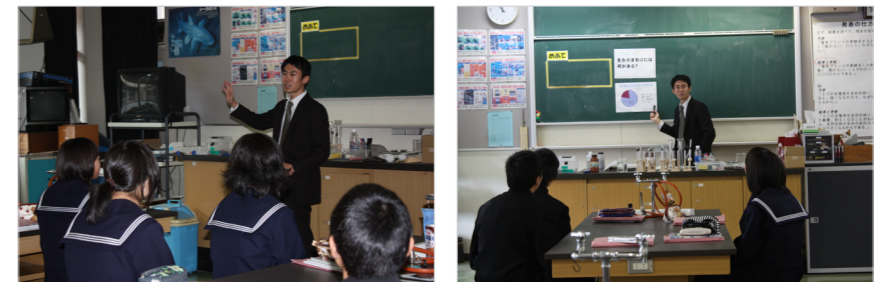
- 中学1年生「社会科」「理科」での交流授業

中学1年 社会科 歴史的分野 「中世の日本」



「この人はだれでしょう。」「何をした人でしょう。」から授業がスタート。中学1年生の歴史分野の学習で、授業のはじめに小学校の先生から「歴史人物あてクイズ」があり、小学校6年生で学習した歴史に関する内容を振り返っていく小中交流授業を11月20日に行いました。出されるクイズにすぐに反応して答える姿が見られ、楽しい雰囲気での学習が進められました。そして、小学校の内容を振り返りながら、中学校の学習内容へつないでいくことができました。

中学1年 理科 「気体の性質」



「空気の成分は?」「酸素、二酸化炭素にはどんな性質が?」「酸素や二酸化炭素があるか調べるにはどんな方法が?」の質問が小学校の先生から。

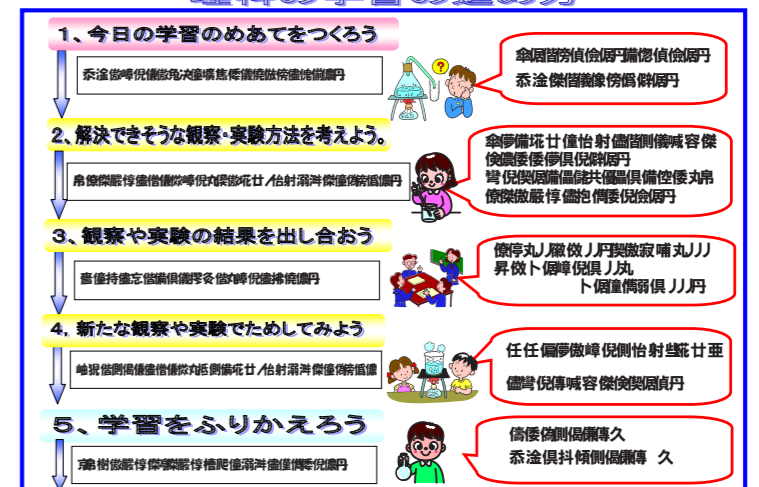
中学1年生の理科の学習でも、小学校の先生が中学校の授業に入る交流授業を12月16日に行いました。小学校の先生と一緒に小学校の内容を振り返っていくことで、中学校の内容へとスムーズに入ることだけでなく、「小学校の内容をもとに中学校では、どんなことを勉強するのか。」とこれからの学習に対する興味・関心を持つことにもつながったようです。

2 小学校・中学校 学習の進め方の作成

冬休みに入った12月25日に小学校・中学校の先生が集まり、2学期に行った小中交流授業の内容の紹介や成果と課題、今後の学習の進め方を話し合いました。

小学校でも中学校でも共通して学習を進めていけるよう、各教科の基本的な学習の進め方を話し合い確認してきました。そして、右の図のような「学習の進め方」を各教科で作成しました。

理科の学習の進め方





小石原山村留学 冬の体験会

1月9日(土)、10日(日)の2日間、小石原小学校体育館や喜楽来館などの村内の施設において、小石原山村留学冬の体験会を開催しました。

初日は雪が降ったら雪遊びを行う予定でしたが、天候が良かったため凧揚げを行いました。体験会自体の参加は3家族8名あり、凧揚げには小石原アンビジャス広場の児童や保護者、山村留学実行委員も含めて30名を超える参加がありました。風は冷たかったのですが、みんな思

い思いに絵を描いた凧を揚げるため、元気よく走りまわっていました。

その後、参加者は喜楽来館へ移動し夕食や入浴を済ませ、小石原小PTAの方などと意見交流会を行いました。山村留学に対する様々な疑問や、不安に思っていることなどを、現在留学中の児童の保護者も交えて話しました。

2日目は、朝から村内散策を行いました。最初は山村留学センターを見学しました。実際に留学をする際に一番お世話になる建物ということで、皆さんじっくり見て質問などをしていました。その後は行者杉を見たり、宝珠山のめがね橋、棚田、岩屋湧水、岩屋神社を巡りましたが、東峰村の豊かな自然に皆さん驚いている様子でした。午後からは伝統産業会館で陶芸体験を行いました。参加者の方が楽しみにしていた雪こそ降らなかったものの、「東峰村の豊かな自然を知ることができました。」と感想を述べられ、東峰村ならではの素晴らしさを味わっていただけたものと思っています。



▲ちゃんと揚がるかな？ 試しに揚げちゃおう！



▲岩屋神社の権現岩にて「倒れてきそう…」



▲最後はみんなで陶芸体験。上手にできたかな？

東峰 Jr. みらい塾 ～新春書き初め大会～



1月9日(土)に宝珠山公民館で東峰 Jr. みらい塾～新春書き初め大会～を行ないました。小石原鼓の華翠書道会、和田輝子さんを講師に、1年生～6年生まで学年別のお手本を用意していただき、1人ひとり指導していただきました。今回初めて筆を持った子ども達もいましたが、みんな一生懸命お手本を見ながら一文字一文字丁寧に書きあげました。作品は教育長、公民館長、和田輝子さんに審査していただき、各学年1名ずつ教育長賞と公民館長賞を表彰

し、特別賞として和田輝子さんに作品を選んでいただきました。

書き初め大会終了後には、仲道恵美子さんが読み聞かせを行いました。子ども達の力作はいずみ館に2月末まで展示していますので、みなさん是非ご覧ください。



公
民
館

ひ
ろ
ば

平成 22 年 東峰村成人式

1月4日(月) 東峰村保健福祉センター「いずみ館」にて、平成22年東峰村成人式が挙行されました。

学業や仕事で村外にでている成人者に配慮し、毎年、正月休みの帰省に合わせていますが、今年もほとんどの新成人が参加され厳粛に執り行われました。式典の成人者代表謝辞では、村内在住の井上侑さんから「今まで、たくさんの人に支えられて成長することができました。今後は私たちも感謝する気持ちを忘れず明るい社会づくりに貢献できるよう頑張ります。」と決意を述べられました。

式典終了後は青年団のお世話により交歓会が行われ、お互いの近況報告や昔話に花が咲いていました。その後、公民館作成の「思い出のビデオ」が上映され、当時のことを思い出しながら和やかな笑いが絶えませんでした。

→次のページには新成人の方々のメッセージを掲載していますのでご覧ください。

※成人式の様子は「東峰メディアカフェ」【地域 SNS】(<http://toho-sns.jp/>) で動画をみることができます。



『らぶすぽ東峰』次回予告

2月のらぶすぽ東峰 (予定)			
	場 所	日 に ち	備 考
健康体操『ヨガ教室』	いずみ館 多目的ホール	2月9日(火)	会員…無料 非会員・団体会員…1回800円 *マットはこちらで準備します。